1章

1 正の数と負の数

例題 1

＋，－の符号を使って，次の温度を表しなさい。

(1) 0℃より４℃高い温度　　(2) 0℃より2.8℃低い温度

ポイント 1 ◆正の数，負の数

解く前に確認しよう

① 0より大きい数を正の数といい，＋（プラス，正の符号）を使って表すことがある。 例 ＋3，＋4.2

② 0より小さい数を負の数といい，－（マイナス，負の符号）を使って表す。 例 -5，$-\frac{1}{2}$

③ 整数には正の整数，0，負の整数があり，正の整数を自然数ともいう。

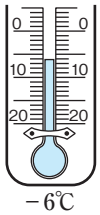
④ 0は，正の数でも負の数でもない数である。

整数

……，-3，-2，-1，0，1，2，3，……

負の整数　　正の整数（自然数）

図で確認しよう



－6℃

考え方と解き方

(1) 0℃より高い温度は＋の符号を使って表す。4℃高い温度は＋4℃

(2) 0℃より低い温度は－の符号を使って表す。2.8℃低い温度は－2.8℃

答 (1) ＋4℃　(2) －2.8℃

例題 2

地点Aから東へ3m移動することを＋3mと表すことにすれば，Aから西へ2m移動することはどのように表されるか。

ポイント 2 ◆符号のついた数で表す

解く前に確認しよう

■ 反対の性質をもつことばを確認しよう。

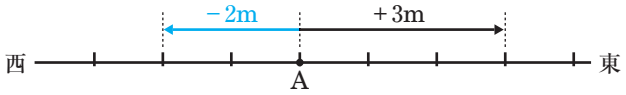
東⇔西　北⇔南　支出⇔収入　増加⇔減少　前⇔後　上⇔下　重い⇔軽い　長い⇔短い

考え方と解き方

地点Aを基準にして，Aから東へ移動することを＋で表しているので，東の反対の西へ移動することは－をつけて表すことができる。

東へ3m→＋3m　西へ2m→－2m

図で確認しよう



答 －2m

SAMPLE

学習の目標　負の数の意味を理解し，正負の符号をつけて数を表します。数直線で数の大小を考えられるようにします。

学習日　　月　　日

ポイント1の確認　「正の数，負の数」についてまとめよう。

◆まとめ

① 0より大きい数を［　　］といい，［　　］の符号を使って表すことがある。

② 0より小さい数を［　　］といい，［　　］の符号を使って表す。

③ 整数には正の整数，0，負の整数があり，正の整数を［　　］ともいう。

④ ［　　］は，正の数でも負の数でもない数である。

■ 練習をしよう

問題　＋，－の符号を使って，次の温度を表しなさい。
(1) 0℃より6℃高い温度　　(2) 0℃より0.5℃低い温度

(1) 0℃より高い温度は［　　］の符号を使って表す。6℃高い温度は［　　］℃

(2) 0℃より低い温度は［　　］の符号を使って表す。0.5℃低い温度は［　　］℃

答　(1) ［　　］℃　(2) ［　　］℃

ポイント2の確認　「符号のついた数で表す」についてまとめよう。

◆まとめ

反対の意味をもつことばは，

東⇔［　　］　北⇔［　　］　支出⇔［　　］　増加⇔［　　］

前⇔［　　］　上⇔［　　］　重い⇔［　　］　長い⇔［　　］

■ 練習をしよう

問題　地点Aから北へ5m移動することを＋5mと表すことにすれば，Aから南へ8m移動することはどのように表されるか。

地点Aを基準にして，Aから北へ移動することを［　　］で表しているので，北の反対の［　　］へ移動することは［　　］をつけて表すことができる。

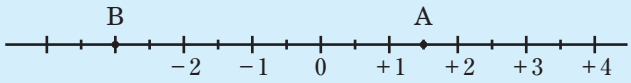
北へ5m→＋5m　南へ8m→［　　］m

答　［　　］m

SAMPLE

例題 3

次の数直線で，点A，Bに対応する数を答えなさい。



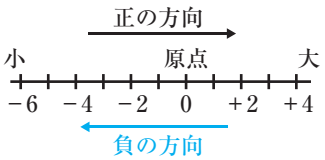
ポイント3 ◆数直線

解く前に確認しよう

① 数直線上で0を表す点を**原点**（げんてん）という。

② 数直線の右の方向を**正の方向**，左の方向を**負の方向**という。

図で確認しよう



考え方と解き方

原点（数0）より右側に正の数，左側に負の数が対応している。

点Aは原点より右にあるから正の数で，＋1と＋2の真ん中だから，$+1.5\left(+1\frac{1}{2}\right)$

点Bは原点より左にあるから負の数で，−2より1小さい数だから，−3

答 点A…$+1.5\left(+1\frac{1}{2}\right)$，点B…−3

例題 4

次の各組の数の大小を，不等号を使って表しなさい。

(1) −2，−6　　(2) −3，+1，0

ポイント4 ◆絶対値と数の大小

解く前に確認しよう

① 数直線上で，原点から，ある数を表す点までの距離を，その数の**絶対値**（ぜったいち）という。

例 ＋5の絶対値は5，−2の絶対値は2，0の絶対値は0

② 数の大小 ・正の数は0より大きく，負の数は0より小さい。

・正の数は，絶対値が大きいほど大きい。

・負の数は，絶対値が大きいほど小さい。

考え方と解き方

(1) 負の数は，絶対値が大きいほど小さい。

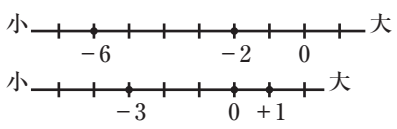
−2の絶対値は2，−6の絶対値は6

2<6だから，−2>−6となる。

(2) 負の数は0より小さく，正の数は0より大きい。

したがって，−3<0，+1>0より，−3<0<+1

図で確認しよう



答 (1) −2>−6

(2) −3<0<+1

SAMPLE

ポイント3の確認　「数直線」についてまとめよう。

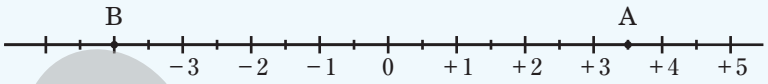
◆まとめ

① 数直線上で0を表す点を［　　］という。

② 数直線の右の方向を［　　］の方向，左の方向を［　　］の方向という。

■ 練習をしよう

問題　次の数直線で，点A，Bに対応する数を答えなさい。



原点より［　　］側に正の数，［　　］側に負の数が対応している。

点Aは原点より右にあるから［　　］の数で，＋3と＋4の真ん中だから，［　　］

点Bは原点より左にあるから［　　］の数で，−3より1小さい数だから［　　］

答　点A…［　　］　点B…［　　］

ポイント4の確認　「絶対値と数の大小」についてまとめよう。

◆まとめ

① 数直線上で，原点から，ある数を表す点までの距離を，その数の［　　］という。

② 数の大小　・［　　］は0より大きく，［　　］は0より小さい。

・正の数は，絶対値が大きいほど［　　］。

・負の数は，絶対値が大きいほど［　　］。

■ 練習をしよう

問題　次の各組の数の大小を，不等号を使って表しなさい。

(1)　−1，−5　　(2)　−4，＋5，0

(1)　負の数は，絶対値が大きいほど［　　］。

−1の絶対値は［　　］，−5の絶対値は［　　］　1［　　］5だから，−1［　　］−5

(2)　負の数は0より小さく，正の数は0より大きい。

したがって，−4［　　］0，＋5［　　］0より，−4［　　］0［　　］＋5

答　(1)　−1［　　］−5　(2)　−4［　　］0［　　］＋5

SAMPLE

ポイント1 の練習

次の問いに答えなさい。

(1)　＋，－の符号を使って，次の温度を表しなさい。

□□①　0℃より8℃高い温度

□□②　0℃より7℃低い温度

(2)　次の温度は，0℃より何℃高いか。または，何℃低いか。

□□①　＋6℃

□□②　－10.4℃

ポイント2 の練習

地点Pから東へ5m移動することを＋5mと表すとき，次の問いに答えなさい。

(1)　次の移動を＋，－の符号を使って表しなさい。

□□①　東へ11mの移動

□□②　西へ15mの移動

(2)　次の①，②はどんな移動を表しているか。

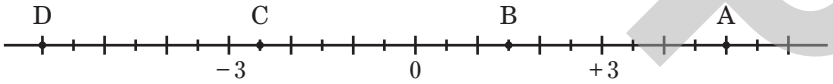
□□①　＋18m

□□②　－6m

ポイント3 の練習

次の数直線で，点A，B，C，Dに対応する数を答えなさい。

また，①～④の数に対応する点をしるしなさい。



□□　点A　　□□　点B　　□□　点C　　□□　点D

□□①　＋0.5　　□□②　＋6　　□□③　－1　　□□④　－4.5

ポイント4 の練習

次の問いに答えなさい。

(1)　次の数の絶対値を答えなさい。

□□①　＋4　　□□②　－4　　□□③　0　　□□④　－12

(2)　次の□にあてはまる不等号を答えなさい。

□□①　－6□＋5

□□②　0□－0.4

チャレンジ問題

次の各組の数の大小を，不等号を使って表しなさい。

□□(1)　＋1，$+\frac{4}{5}$

□□(2)　＋0.7，－1.7，＋2，－3.7

SAMPLE

理解度チェック　正の数と負の数

／20問

1　次の問いに答えなさい。

(1)　＋，－の符号を使って，次の温度を表しなさい。

□□①　0℃より9℃高い温度　　□□②　0℃より1℃低い温度

(2)　＋，－の符号を使って，次の数を表しなさい。

□□①　0より16大きい数　　□□②　0より20小さい数

2　地点Pから北へ6m移動することを＋6mと表すとき，次の問いに答えなさい。

(1)　次の移動を＋，－の符号を使って表しなさい。

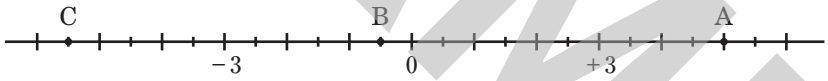
□□①　北へ39mの移動　　□□②　南へ50mの移動

(2)　次の①，②はどんな移動を表しているか。

□□①　＋130m　　□□②　－85m

3　次の問いに答えなさい。

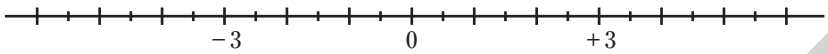
(1)　次の数直線で，点A，B，Cに対応する数を答えなさい。



□□　点A　　□□　点B　　□□　点C

(2)　次の点D，E，Fに対応する点を下の数直線にしるし，記号も書きなさい。

□□　点D　－2.5　　□□　点E　＋4　　□□　点F　$-\frac{3}{2}$



4　次の問いに答えなさい。

(1)　次の数の絶対値を答えなさい。

□□①　－2　　□□②　＋1.5　　□□③　－4.7

(2)　次の各組の数の大小を，不等号を使って表しなさい。

□□①　－5，＋3　　□□②　－10，0，－9　　□□③　＋6，－3.8，＋2.1，－4

★自分でチェックしてみよう★

項　目	1回目（　／　）	2回目（　／　）	3回目（　／　）	NO➡ここに戻る
ポイント1 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.4 ポイント1
ポイント2 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.4 ポイント2
ポイント3 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.6 ポイント3
ポイント4 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.6 ポイント4

先生メモ

SAMPLE

1章

2 加法と減法

例題 1

次の計算をしなさい。

(1) $(+2)+(+5)$　　(2) $(-4)+(-2)$

ポイント 1 ◆符号が同じ数の和

① たし算のことを加法(かほう)ともいう。

② たし算の答えを和という。

解く前に確認しよう

同符号の数の加法は，絶対値の和に共通の符号をつける。

考え方と解き方

同符号の数の加法は，絶対値の和に共通の符号をつける。

(1) $+2$の絶対値は2，$+5$の絶対値は5　絶対値の和は，$2+5=7$

共通の符号は＋　したがって，$(+2)+(+5)=+(2+5)=+7$ ……答

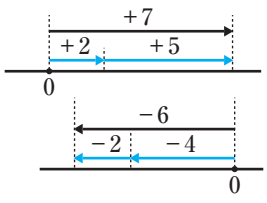
(+)(+)　共通の符号　(+)　たす

(2) -4の絶対値は4，-2の絶対値は2　絶対値の和は，$4+2=6$

共通の符号は－　したがって，$(-4)+(-2)=-(4+2)=-6$ ……答

(−)(−)　共通の符号　(−)　たす

図で確認しよう



例題 2

次の計算をしなさい。

(1) $(+2)+(-5)$　　(2) $(+6)+(-1)$

ポイント 2 ◆符号が異なる数の和

解く前に確認しよう

異符号の数の加法は，絶対値の大きいほうから小さいほうをひき，絶対値の大きいほうの符号をつける。

考え方と解き方

(1) $+2$の絶対値は2，-5の絶対値は5　$2<5$だから，和の符号は－

したがって，$(+2)+(-5)=-(5-2)=-3$ ……答

(+)(−)　絶対値が大きいほうの符号　(−)　ひく

＊-5をたすことは，$+5$をひくことと同じ。

(2) $+6$の絶対値は6，-1の絶対値は1　$6>1$だから，和の符号は＋

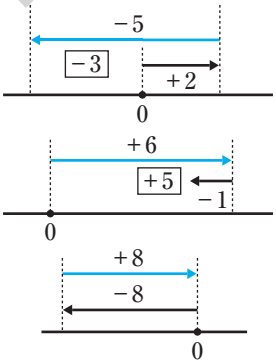
したがって，$(+6)+(-1)=+(6-1)=+5$ ……答

(+)(−)　絶対値が大きいほうの符号　(−)　ひく

注 絶対値の等しい異符号の2数の和は0である。　例　$(-8)+(+8)=0$

0との加法　例　$(-6)+0=-6$，$0+(-4)=-4$

図で確認しよう



SAMPLE

学習の目標 2数の加法で，答えの符号，絶対値の決め方を学習します。3つ以上の数の加法や2数の減法も学習します。

学習日　　月　　日

ポイント1の確認

「符号が同じ数の和」についてまとめよう。

◆まとめ

■ 同符号の数の加法は，［　　］の和に共通の［　　］をつける。

■ 練習をしよう

問題 次の計算をしなさい。

(1) $(+1)+(+6)$　　(2) $(-5)+(-3)$

(1) $+1$の絶対値は［　　］，$+6$の絶対値は［　　］だから，絶対値の和は，$1+6=$［　　］

共通の符号は［　　］したがって，$(+1)+(+6)=$［　　］$(1+6)=$［　　］……答

(2) -5の絶対値は［　　］，-3の絶対値は［　　］だから，絶対値の和は，$5+3=$［　　］

共通の符号は［　　］したがって，$(-5)+(-3)=$［　　］$(5+3)=$［　　］……答

ポイント2の確認

「符号が異なる数の和」についてまとめよう。

◆まとめ

■ 異符号の数の加法は，絶対値の［　　］ほうから［　　］ほうをひき，絶対値の［　　］ほうの符号をつける。

■ 練習をしよう

問題 次の計算をしなさい。

(1) $(+2)+(-6)$　　(2) $(-3)+(+9)$

(1) $+2$の絶対値は［　　］，-6の絶対値は［　　］　2［　　］6だから，和の符号は［　　］

したがって，$(+2)+(-6)=-($［　　］$-$［　　］$)=$［　　］……答

(2) -3の絶対値は［　　］，$+9$の絶対値は［　　］　3［　　］9だから，和の符号は［　　］

したがって，$(-3)+(+9)=+($［　　］$-$［　　］$)=$［　　］……答

SAMPLE

例題 3

(−4)+(+8)+(−11)+(+5)を計算しなさい。

ポイント3 ◆加法の計算法則

解く前に確認しよう

■ 3つ以上の数の加法は，加法の交換法則や結合法則を使って，数の順序や組み合わせを変えて計算するとよい。

加法の交換法則 □+○=○+□

加法の結合法則 (□+○)+△=□+(○+△)

考え方と解き方

負の数どうし，正の数どうしをまとめてから計算する。

$(-4)+(+8)+(-11)+(+5)=(-4)+(-11)+(+8)+(+5)$ ←交換法則

$=\{(-4)+(-11)\}+\{(+8)+(+5)\}$ ←結合法則

$=(-15)+(+13)$

$=-(15-13)$

$=-2$ ……答

例題 4

次の計算をしなさい。

(1) (+1)−(+5)　　(2) (+2)−(−8)

ポイント4 ◆減法

① ひき算のことを減法(げんぽう)ともいう。

② ひき算の答えを差という。

解く前に確認しよう

■ 正負の数の減法は，ひく数の符号を変えてたす。

○−(+□)=○+(−□)　○−(−□)=○+(+□)

考え方と解き方

(1) 正の数をひくことは，負の数をたすことと同じだから，加法になおして計算する。

+5をひくことは，−5をたすことと同じ。

$(+1)-(+5)=(+1)+(-5)$

$=-(5-1)=-4$ ……答

(2) 負の数をひくことは，正の数をたすことと同じ。

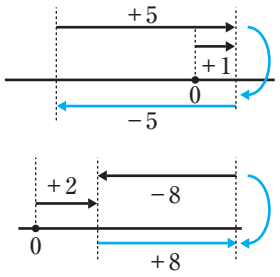
−8をひくことは，+8をたすことと同じ。

$(+2)-(-8)=(+2)+(+8)$

$=+(2+8)$

$=+10$ ……答

図で確認しよう



SAMPLE

ポイント3の確認　「加法の計算法則」についてまとめよう。

◆まとめ

■　3つ以上の数の加法は，加法の［　　］法則や［　　］法則を使って，数の順序や組み合わせを変えて計算するとよい。

加法の［　　］法則　□＋○＝○＋□

加法の［　　］法則　(□＋○)＋△＝□＋(○＋△)

■ 練習をしよう

問題　(−3)＋(＋7)＋(−9)＋(＋2)を計算しなさい。

(−3)＋(＋7)＋(−9)＋(＋2)＝(−3)＋(　　)＋(　　)＋(＋2)

＝{(−3)＋(　　)}＋{(　　)＋(＋2)}

＝(　　)＋(　　)

＝−(　　−　　)

＝　　……答

ポイント4の確認　「減法」についてまとめよう。

◆まとめ

■　正負の数の減法は，ひく数の符号を変えて［　　］。

○−(＋□)＝○＋(　　□)　○−(−□)＝○＋(　　□)

■ 練習をしよう

問題　次の計算をしなさい。

(1)　(＋1)−(＋3)　　(2)　(＋1)−(−1)

(1)　＋3をひくことは，［　　］をたすことと同じ。

(＋1)−(＋3)＝(＋1)＋(　　)

＝−(　　−　　)

＝　　……答

(2)　−1をひくことは，［　　］をたすことと同じ。

(＋1)−(−1)＝(＋1)＋(　　)

＝＋(　　＋　　)

＝　　……答

SAMPLE

ポイント 1 の練習

次の計算をしなさい。

(1)　$(+6)+(+1)$　　(2)　$(-3)+(-4)$　　(3)　$(-8)+(-7)$

(4)　$(-14)+(-18)$　　(5)　$(+11)+(+9)$　　(6)　$(-15)+(-36)$

ポイント 2 の練習

次の計算をしなさい。

(1)　$(+1)+(-4)$　　(2)　$(+8)+(-2)$　　(3)　$(-5)+(+3)$

(4)　$(-9)+(+8)$　　(5)　$(-13)+(+13)$　　(6)　$(-14)+(+20)$

(7)　$(+12)+(-28)$　　(8)　$0+(-15)$　　(9)　$(+8)+0$

ポイント 3 の練習

次の計算をしなさい。

(1)　$(-3)+(+2)+(-5)$　　(2)　$(+7)+(-5)+(-6)+(+4)$

ポイント 4 の練習

次の計算をしなさい。

(1)　$(+2)-(+5)$　　(2)　$(-7)-(+1)$　　(3)　$0-(+3)$

(4)　$(-19)-(-19)$　　(5)　$(+5)-(-2)$　　(6)　$(-8)-(-3)$

チャレンジ問題

次の計算をしなさい。

(1)　$(-6)+(-15)+(+15)+(-4)$　　(2)　$(+32)+(-9)+(+19)+(-32)$

SAMPLE

理解度チェック　加法と減法

／28問

1　次の計算をしなさい。

□□□(1)　$(-3)+(-3)$　　□□□(2)　$(+5)+(+4)$　　□□□(3)　$(-8)+(-6)$

□□□(4)　$(+9)+(+17)$　　□□□(5)　$(-16)+(-18)$　　□□□(6)　$(-7)+(-24)$

2　次の計算をしなさい。

□□□(1)　$(-5)+(+2)$　　□□□(2)　$(+8)+(-6)$　　□□□(3)　$(-3)+(+9)$

□□□(4)　$(+7)+(-7)$　　□□□(5)　$0+(-14)$　　□□□(6)　$(+6)+(-18)$

3　次の計算をしなさい。

□□□(1)　$(+1)+(-8)+(+5)$　　□□□(2)　$(-10)+(+3)+(+4)$

□□□(3)　$(-2)+(+5)+(-6)+(+1)$　　□□□(4)　$(+16)+(-8)+0+(-5)$

4　次の計算をしなさい。

□□□(1)　$(-2)-(+1)$　　□□□(2)　$(+4)-(+5)$　　□□□(3)　$(-8)-(+7)$

□□□(4)　$(+9)-(+3)$　　□□□(5)　$(-16)-(+6)$　　□□□(6)　$0-(+11)$

□□□(7)　$(+4)-(-5)$　　□□□(8)　$(-2)-(-7)$　　□□□(9)　$(+10)-(-1)$

□□□(10)　$(-9)-(-6)$　　□□□(11)　$(-18)-(-18)$　　□□□(12)　$(+5)-(-16)$

SAMPLE

★自分でチェックしてみよう★

項　目	1回目(　／　)	2回目(　／　)	3回目(　／　)	NO➡ここに戻る
ポイント1 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.10 ポイント1
ポイント2 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.10 ポイント2
ポイント3 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.12 ポイント3
ポイント4 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.12 ポイント4

先生メモ

1章

3 加法と減法が混じった式

例題 1

次の計算をしなさい。

(1) $(-0.4)-(+1.1)$　　(2) $\left(-\frac{1}{2}\right)+\left(+\frac{2}{3}\right)$

ポイント 1 ◆小数や分数の加減

解く前に確認しよう

■ 負の小数や分数についても，整数と同じように加法，減法をすることができる。

考え方と解き方

(1) $+1.1$をひくことは，-1.1をたすことと同じ。

$(-0.4)-(+1.1)=(-0.4)+(-1.1)=-(0.4+1.1)=-1.5$ ……答

（$-$：共通の符号　　たす）

(2) 異符号の加法だから，絶対値の大きいほうから小さいほうをひき，絶対値の大きいほうの符号をつける。

$\frac{1}{2}=\frac{3}{6}$，$\frac{2}{3}=\frac{4}{6}$　$\frac{3}{6}<\frac{4}{6}$より，$\frac{1}{2}<\frac{2}{3}$だから，和の符号は＋

$\left(-\frac{1}{2}\right)+\left(+\frac{2}{3}\right)=\left(-\frac{3}{6}\right)+\left(+\frac{4}{6}\right)=+\left(\frac{4}{6}-\frac{3}{6}\right)=+\frac{1}{6}$ ……答

（＋：絶対値の大きいほうの符号　　ひく）

例題 2

$4+(-5)-(+8)-(-3)$を計算しなさい。

ポイント 2 ◆加法と減法が混じった式

解く前に確認しよう

$4+(-5)-(+8)-(-3)=4+(-5)+(-8)+(+3)$　←加法だけの式になおす

$=4-5-8+3$　←かっこのない式になおす

上のように，かっこのない式になおして計算する。

加法の記号で結ばれた1つ1つを項（こう）という

図で確認しよう

かっこのはずし方

$+(+\square)=+\square$　　$+(-\square)=-\square$

$-(+\square)=-\square$　　$-(-\square)=+\square$

考え方と解き方

$4+(-5)-(+8)-(-3)=4+(-5)+(-8)+(+3)$

$=4-5-8+3$

$=4+3-5-8$　正の項どうし負の項どうしを計算する。

$=7-13$

$=-6$ ……答

※今後はかっこのない式になおして計算する方法で説明します。

SAMPLE

学習の目標　加法と減法が混じった計算をかっこのない式になおして計算します。小数や分数の加減を学習します。

学習日　　月　　日

ポイント 1 の確認　「小数や分数の加減」についてまとめよう。

◆まとめ

■　負の小数や分数についても，整数と同じように［　　］，［　　］をすることができる。

■ 練習をしよう

問題　次の計算をしなさい。

(1)　$(-0.6)-(+0.9)$　　(2)　$\left(+\frac{1}{2}\right)+\left(-\frac{3}{8}\right)$

(1)　$+0.9$をひくことは，［　　］をたすことと同じ。

$(-0.6)-(+0.9)=(-0.6)+($［　　］$)=-($［　　］$+$［　　］$)=$［　　］……答

(2)　$\frac{1}{2}=\frac{\square}{8}$，$\frac{4}{8}>\frac{3}{8}$より，$\frac{1}{2}$［　　］$\frac{3}{8}$だから，和の符号は［　　］

$\left(+\frac{1}{2}\right)+\left(-\frac{3}{8}\right)=\left(+\frac{\square}{8}\right)+\left(-\frac{\square}{8}\right)$

$=+\left(\frac{\square}{8}-\frac{\square}{8}\right)=$［　　］……答

ポイント 2 の確認　「加法と減法が混じった式」についてまとめよう。

◆まとめ

■　加法と減法が混じった式は，［　　］のない式になおして計算する。

■　加法の記号で結ばれた1つ1つを［　　］という。

■ 練習をしよう

問題　次の計算をしなさい。

(1)　$2+(-6)-(+9)-(-5)$　　(2)　$(-2)-(-3)-(-9)+(-8)$

(1)　$2+(-6)-(+9)-(-5)$

$=2-$［　　］$-9+$［　　］

$=2+$［　　］$-6-$［　　］

$=7-$［　　］$=$［　　］……答

(2)　$(-2)-(-3)-(-9)+(-8)$

$=-2+$［　　］$+$［　　］-8

$=$［　　］$+$［　　］$-2-8$

$=$［　　］$-10=$［　　］……答

SAMPLE

ポイント1 の練習

次の問いに答えなさい。

(1) 次の計算をしなさい。

☀□□① $(+1)+(-0.4)$　　☀□□② $(-0.7)+(-0.9)$　　☀□□③ $(-1.3)+(+2)$

□□④ $(+0.8)+(-3)$　　☀□□⑤ $\left(-\frac{3}{8}\right)+\left(-\frac{5}{8}\right)$　　☀□□⑥ $\left(+\frac{1}{2}\right)+\left(-\frac{5}{6}\right)$

(2) 次の計算をしなさい。

☀□□① $(-2)-(+0.3)$　　□□② $(-4)-(-1.7)$　　□□③ $(+0.4)-(+3.1)$

☀□□④ $\left(+\frac{4}{9}\right)-(+1)$　　□□⑤ $0-\left(-\frac{5}{3}\right)$　　□□⑥ $\left(+\frac{5}{8}\right)-\left(-\frac{1}{2}\right)$

ポイント2 の練習

次の計算をしなさい。

☀□□(1) $8+(-4)+6$　　□□(2) $5+(-2)+(-10)$

☀□□(3) $-1+(-9)-(+4)$　　□□(4) $-7-(-8)+(-5)$

☀□□(5) $2-(-10)+(-1.3)-4$　　☀□□(6) $\frac{5}{8}-\frac{3}{2}-\left(-\frac{1}{4}\right)$

チャレンジ問題

次の計算をしなさい。

□□(1) $7.3-15+0.6$　　□□(2) $\frac{1}{3}-\frac{3}{2}+\left(-\frac{1}{6}\right)$

SAMPLE

理解度チェック　加法と減法が混じった式

／22問

1　次の計算をしなさい。

□(1)　$(-0.4)+(-0.6)$　　□(2)　$(+1.2)+(-5)$　　□(3)　$(-2.7)+(+1.8)$

□(4)　$\left(+\frac{5}{9}\right)+\left(-\frac{11}{9}\right)$　　□(5)　$\left(-\frac{2}{3}\right)+\left(+\frac{1}{4}\right)$　　□(6)　$\left(+\frac{1}{20}\right)+\left(-\frac{1}{5}\right)$

□(7)　$(-1.6)-(+0.5)$　　□(8)　$(+0.4)-(+4)$　　□(9)　$(+0.2)-(-0.8)$

□(10)　$\left(-\frac{1}{3}\right)-\left(+\frac{1}{5}\right)$　　□(11)　$\left(+\frac{1}{4}\right)-\left(-\frac{3}{8}\right)$　　□(12)　$\left(-\frac{4}{5}\right)-\left(-\frac{7}{15}\right)$

2　次の計算をしなさい。

□(1)　$4+(-6)+(-9)$　　□(2)　$3-7+(-4)$

□(3)　$-1+(-5)-(-8)$　　□(4)　$-6+(-5)+4$

□(5)　$-3-2+(-2)+4$　　□(6)　$8-(-7)-(+1)-9$

□(7)　$-2-(-4)-9+(-6)$　　□(8)　$5+(+4)-(-7)-13$

□(9)　$3.7-(-1.8)-5.2+(-2.6)$　　□(10)　$-\frac{5}{6}-\frac{1}{2}-\left(-\frac{1}{12}\right)$

SAMPLE

★自分でチェックしてみよう★

項　目	1回目(　／　)	2回目(　／　)	3回目(　／　)	NO➡ここに戻る
ポイント1 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.16 ポイント1
ポイント2 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.16 ポイント2

先生メモ